

2019年度
春

まほろばだより

奈良県橿原市大久保町 320 番地 11
奈良県社会福祉総合センター内
FAX 0744-21-7888 TEL 0744-21-7880
HP <http://www.nds-center@nara.ne.jp>

耳の日の講演会と聞こえの相談会

2月24日(日)生駒市コミュニティセンターにおいて、奈良県立医科大学耳鼻咽喉科 講師 西村忠己(ただし)先生をお招きし、2018年度 聞こえの相談会を行いました。参加者は120名。当センターに事業が移管されてからこれまで、県中南部で開催してきましたが講師のアドバイスや県難聴協の要望に応えるべく、初めて県北部での開催です。生駒市のご協力のもと、駅前から徒歩3分のコミュニティセンターを確保。県北部、それもかなり西よりのため、本当にみな集まってくださるだろうかと心配しましたが、一般来場者だけで80名以上という嬉しい結果となりました。



これは、チラシやポスターだけでなく、県政フラッシュや広報・新聞各紙で取り上げていただいたことで、聞こえに悩んでおられるみなさんやご家族のもとに情報が届いたから。そう思うと、本当に感慨無量です。

西村先生の講演には、研究されている軟骨伝導のお話も盛り込んでいただきました。実用化されてきているので、個別相談での質問も、かなり多かったように思われます。補聴器と人工内耳の体験談については、未装用の方から「参考になった」「自分も検討してみたい」など多くの感想をいただきました。また、

ヒアリンググループやパソコン要約筆記の情報保障で、内容がよく理解できたとの声もあったようです。毎年ご協力いただいている県難聴協スタッフ・人工内耳メーカー・補聴器販売店の方々、ありがとうございました。来年度もぜひ、お願いいたします。



儲(もう)かる話・お金が増える話にご用心!

日本人の寿命も長くなり、今‘人生100年時代’と言われるようになってきました。「退職後の生活が不安」「年金だけで生活できるのか」「子どもに迷惑かけたくない」そんな不安な気持ちや心の隙間に「投資話」や「儲け話」。これってとっても危険! 説明会やセミナーに参加すると「こんな裕福な暮らしができています」など成功者の話はたくさんあるけれど、でもよく考えてほしいのです。その商品、本当に必要ですか? 毎月支払い続けても大丈夫なの? そもそも本当に儲かるのかな? 逆に損をすることもあるのでは? 心配なときは、支援センターにご相談を。秘密は必ず守ります。



ヨガ教室 / はじめての手話講座 / 安心できるお葬式

ヨガ教室

2月18日(月) 支援センター 研修室において、
江嶋 牧紀 氏(フィットネスインストラクター)をお招きし、
ヨガ教室(肩こり腰痛改善ヨガ)を開催。参加者は8名でした。

肩こりなどの原因になる筋肉は、ほとんどが肩甲骨周り。
その部分をほぐすことで、こりの改善につながります。
座ったままのヨガ呼吸などで、無理なくほぐすことができ、
すっきりリラックスできたとのこと。みなさん満足げな様子でした。
ただ、仰向けやうつ伏せになってしまうと、講師や手話通訳・スクリーンを見ることができなくなります。
どういう情報保障を準備するのがベストなのか、運営側の今後の課題がみえてきた貴重な時間となりました。



はじめての 手話講座

3月16日(土) 支援センター 研修室・交流スペースにおいて、はじめての手話講座
を開催しました。参加者は16名で、10~70代の幅広い層の方々にお越しいただきました。

まずは手話に関するマメ知識。ろう者の歴史や聴覚障害者用の日常生活用具の紹介の
あとに、アイ・ドラゴン4で、ろう者が出演している番組の視聴をしてもらいました。
ろう講師には、日常生活で不便なことは何かを、具体的にお話ししていただきました。
聞こえないと、来客があったときにもインターフォン越しの音声対応ができないこと、
外出先で子どもが迷子になってもアナウンスが聞こえないことなどを挙げられました。



後半は、奈良ろう者劇団「大仏も笑う会」によるワークショップ。身振りを交えた伝言ゲームなどを行いました。
なかでも人気だったのは、グループ対抗の『同音のことばをどう表現するか』というもの。
例えば「きる」という日本語には、ハサミで「切る」、のこぎりで「伐る」、世相を「斬る」
服を「着る」など、多くの言い回しが存在します。それを、人と違う動作でできたら成功、
同じ表現になったら失敗というルールで競い合います。重なることが多かったので、とても盛り上がりました。
最後は手話表現の時間。あいさつと氏名を覚え、2人1組で練習しました。市町が開催する手話奉仕員養成講座
の多くは、新年度から募集が始まります。興味があれば、そちらにも参加してほしいと呼びかけて、終了しました。



安心できるお葬式

3月18日(月) 支援センター 研修室において
(株)公益社 原田 智弘 氏(1級葬祭ディレクター)を
お招きし、葬祭に関する講座を行いました。参加者22名。

お葬式で気になる点や家族葬のメリットとデメリット、気をつけてほしいことなど
なかなか人には聞けない手続きやマナーなどを、解説していただきました。

抹香(まっこう)とは、葬儀や法事のときに行われる焼香で用いられるお香のこと。

線香が棒状であるのに対し、乾燥させて粉末状にしたものをいいます。

その抹香を額へ押しいただく(捧げる)動作は、1回に気持ちを込める
宗派もあれば、3回することに意味を持つ宗派もあるのだとか。

ほかにも、わかっているつもりが知らなかったことなどが多く、みなさん熱心に聞き入っておられました。



お問い合わせはこちらまで
奈良県聴覚障害者支援センター
FAX 0744-21-7888 TEL 0744-21-7880



お知らせ 【GW(ゴールデンウィーク)期間の休所日について】

◇4/28(日)~5/6(振替休日)は休所いたします。当センターのホームページでご確認ください。